

[www.garde-intl.com](http://www.garde-intl.com)

## Thailand News

February 2026

### CONTENTS

- Project 1: Dib Bangkok (Museum, Thailand)

## 1. DIB BANGKOK

### Project Overview

Dib Bangkok はタイ初の国際現代美術に特化した美術館である。2025年12月に開館した当館は、1980年代に建てられた3階建て倉庫を改装した建物に収められている。本プロジェクトは、タイを代表する消費財企業オソット・スパグループの一角であるオサタヌグラ家出身の実業家で著名なアートコレクターでもある、故ペッチ・オサタヌグラ氏によって生まれた。その後、創設会長を務める息子のプラット・オサタヌグラ氏が事業を引き継ぎ開発が進められた。世界各国の現代美術による個人コレクションを核に、常設展示と企画展を開催している。1960年代から現代に至るまで、200人以上のアーティストによる絵画、彫刻、写真、大型インсталレーション、ニューメディアなど1,000点以上を展示。参加アーティストには Montien Boonma、Lee Bul、Anselm Kiefer、Alicja Kwade らが名を連ねる。

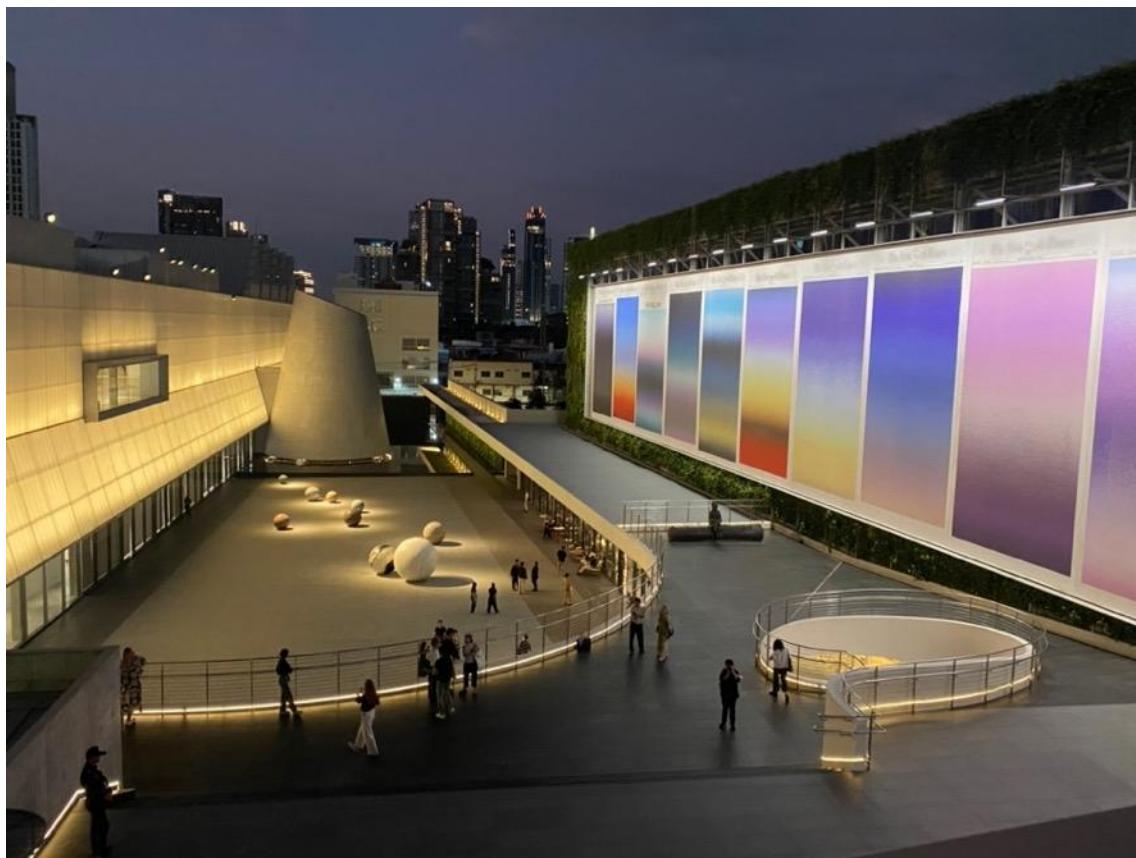
タイ出身の建築家クラパット・ヤントラサットが設立した WHY Architecture が設計を担当。建物のインダストリアルな特徴を残しつつ、多様な展示空間を創出している。1階は打ち放しコンクリートによる力強い空間、2階はタイ・チャイニーズ様式の窓格子が静謐な雰囲気を醸し出し、最上階は北向きの鋸歯状天窓から光が差し込むホワイトキューブギャラリーが広がる。なかでも象徴的なのが、磁器モザイクタイルで仕上げられた円錐形ギャラリー「チャペル」で、反射池と中庭を介して美術館とビストロ、多目的スペースを連結している。

### Project Details

1. **Type of Business:** Contemporary art museum
2. **Open Date:** 12/12/2025
3. **Location:** Near the corner of Sukhumvit Soi 40 and Rama IV Road, Bangkok, Thailand
4. **Size:** 7,000 square meters
5. **Architect:** WHY Architecture (USA); <https://why-site.com>
6. **Local Architect:** Architects 49 (Thailand), [www.a49.com](http://www.a49.com)
7. **Developer:** Purat (Chang) Osathanugrah
8. **Website:** [www.dibbangkok.org](http://www.dibbangkok.org)

### Location map



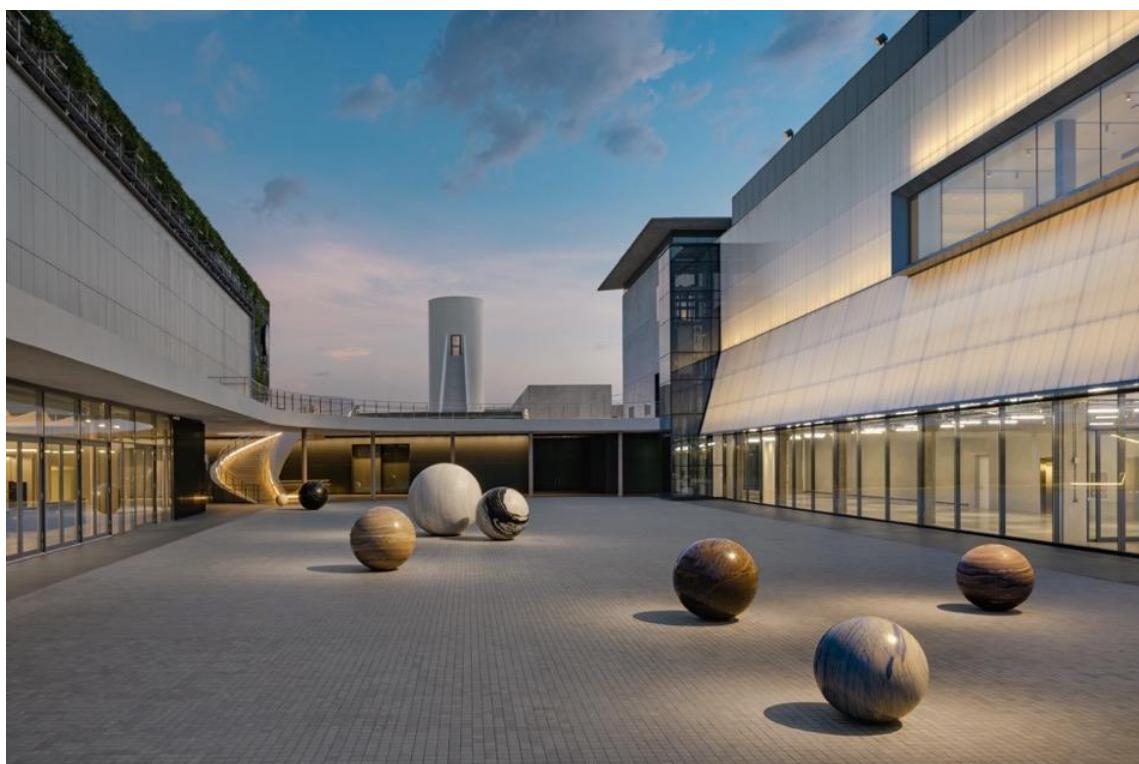


Dib Bangkok は、総面積 7,000 平方メートルの 11 のギャラリースペース、1,400 平方メートルの中央中庭、屋外彫刻庭園、そして特別イベント用のペントハウススペースを備えている。

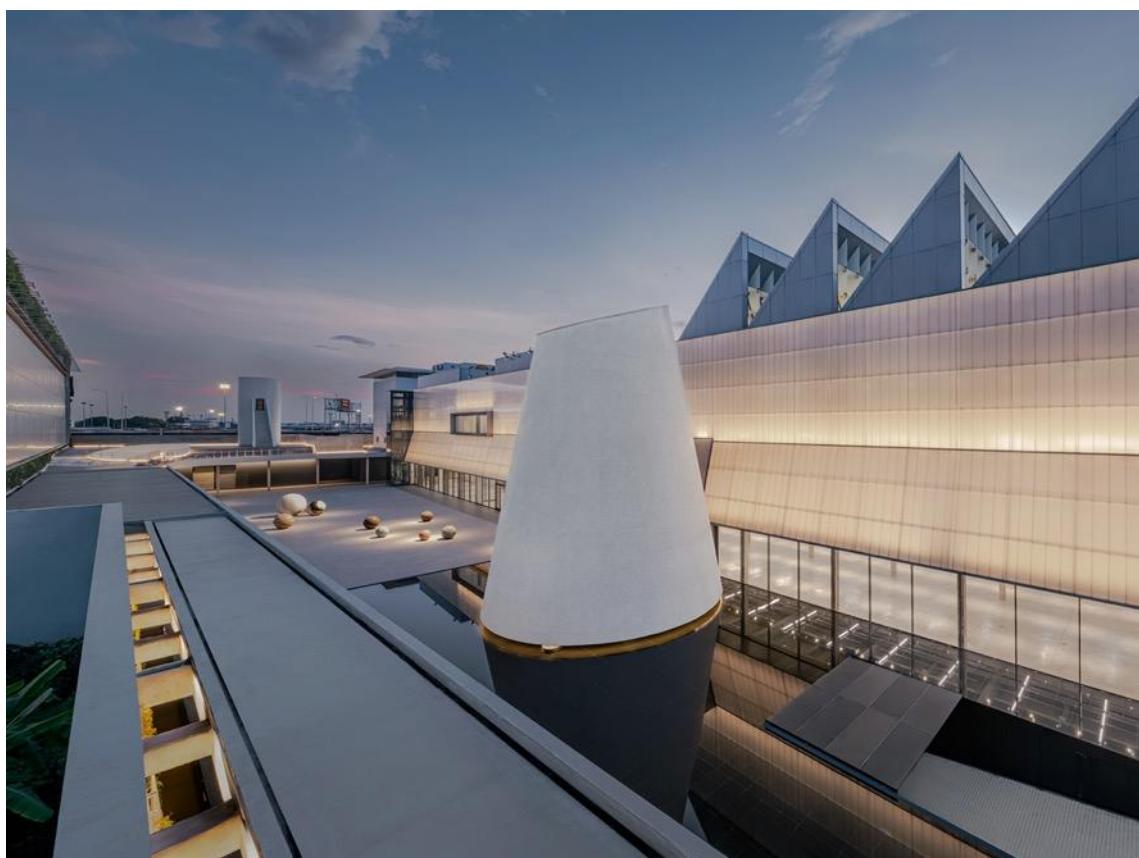




Dib Bangkok は、国際現代美術に特化したタイ初の大規模美術館である。



Alicja Kwade の『Pars pro Toto』（2020 年）は、直径 70~250cm までの巨大な石球 11 点からなるインсталレーション作品である。異なるサイズを用いて、惑星系と物質の物理的性質について考察している。



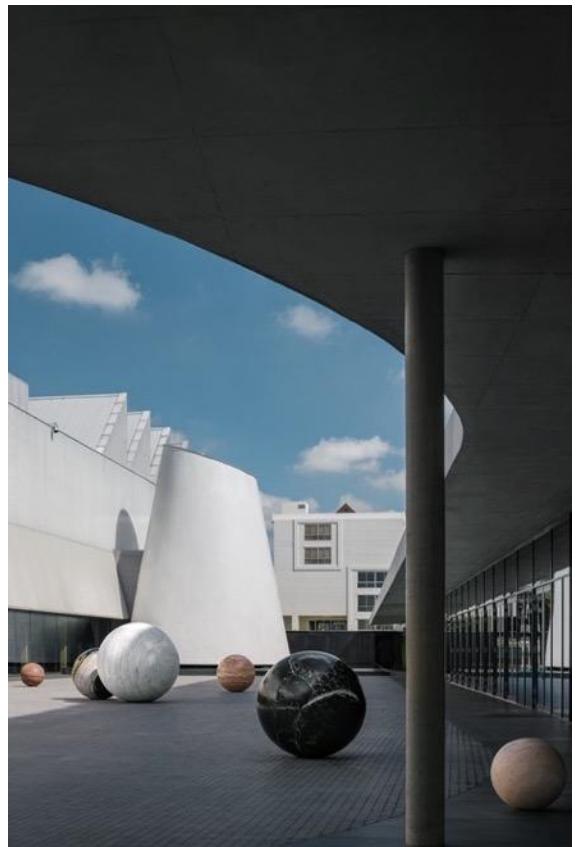
チャペルは、特徴的な円錐形のギャラリーで、モザイクタイルの外壁と天窓を備え、水景の中に佇んでいます。



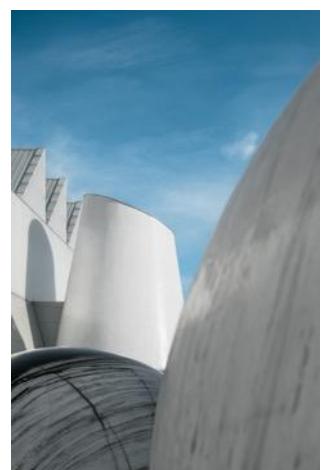
1階は建物のインダストリアルな起源を保ちながら、コンクリートの質感を生かした空間構成となっている。



本美術館は、1980年代に建てられた倉庫を改修した建物にある。

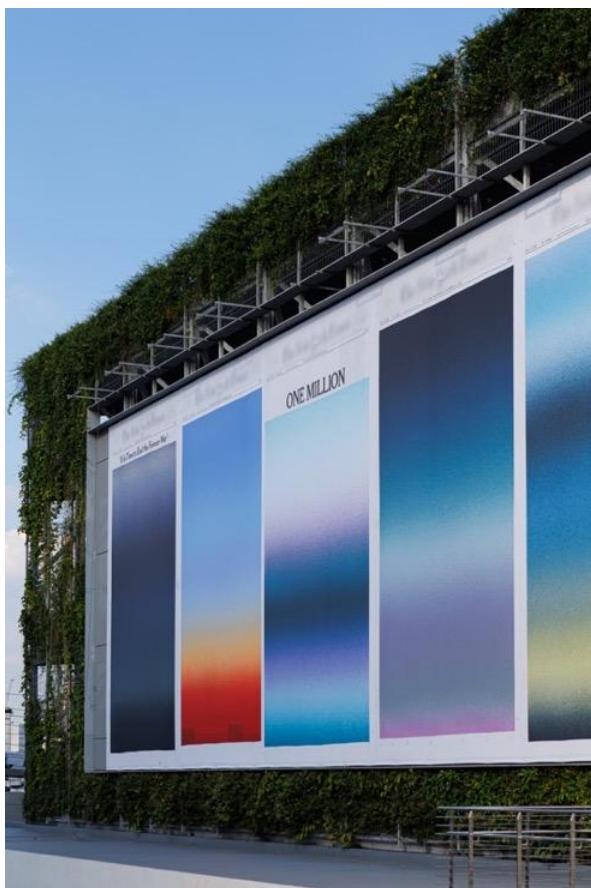


反射池と中庭が、美術館とビストロ、そして多目的スペースを繋いでいる。





Dib Bangkok 『Memory』のグランドオープンにて、日本人アーティスト・Sho Shibuya による新作大型作品が初公開された。85 メートル×25 メートルのこの作品は、同会場で展示された彼の作品としては最大規模であり、この空間のために特別に制作されたものである。



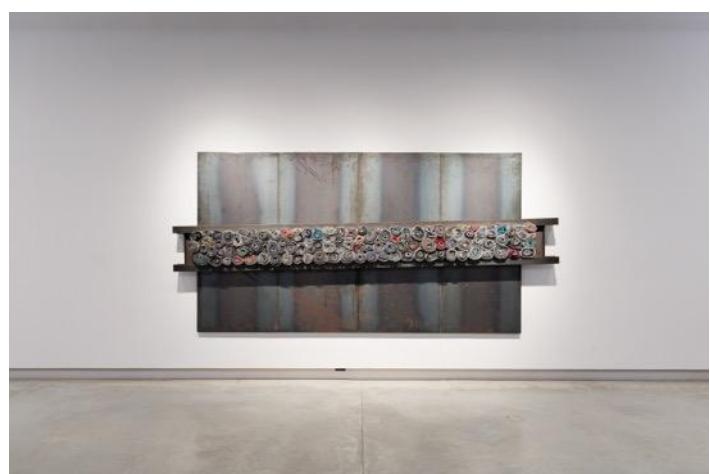
『Bumpman on a Tree Trunk』は、ドイツの現代美術家 Paloma Varga Weisz による作品である。



開館記念展『(In)visible Presence』では、Montien Boonma、Lee Bul、Anselm Kiefer、Alicja Kwade ら、40名の第一線で活躍するアーティストによる作品が展示されている。



Montien Boonma の作品『Lotus Sound』



Montien Boonma のインスタレーション『Zodiac Houses』